

平成22年度

第42回北信越高等学校新人
バスケットボール選手権大会



【大会結果】

2011

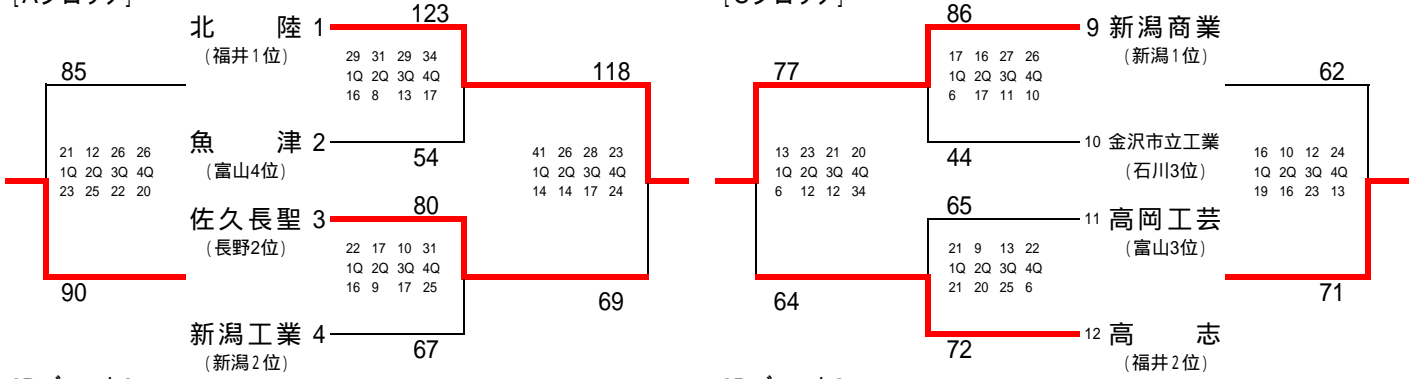
北信越バスケットボール協会

大会結果

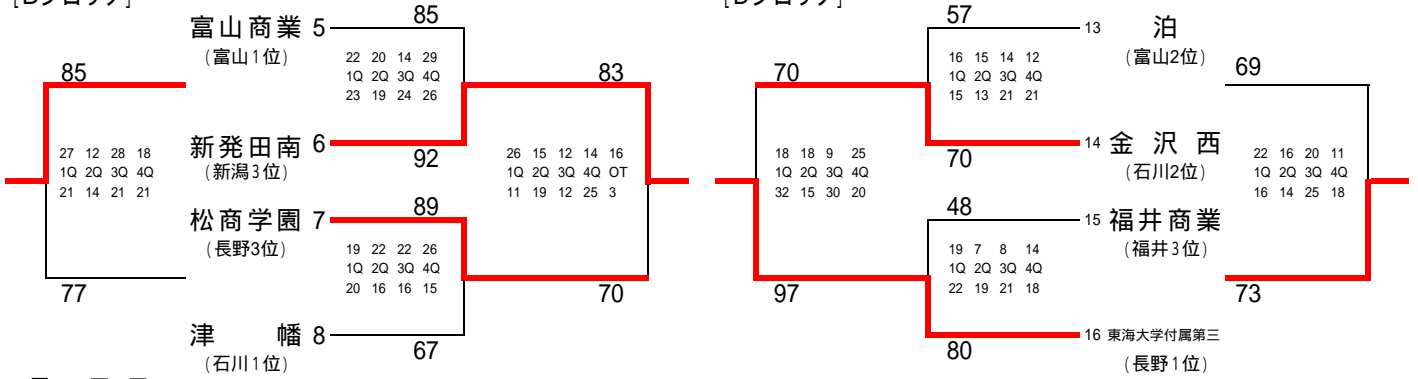
平成22年度第42回北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会
男子

1月29日(土)
[Aブロック]

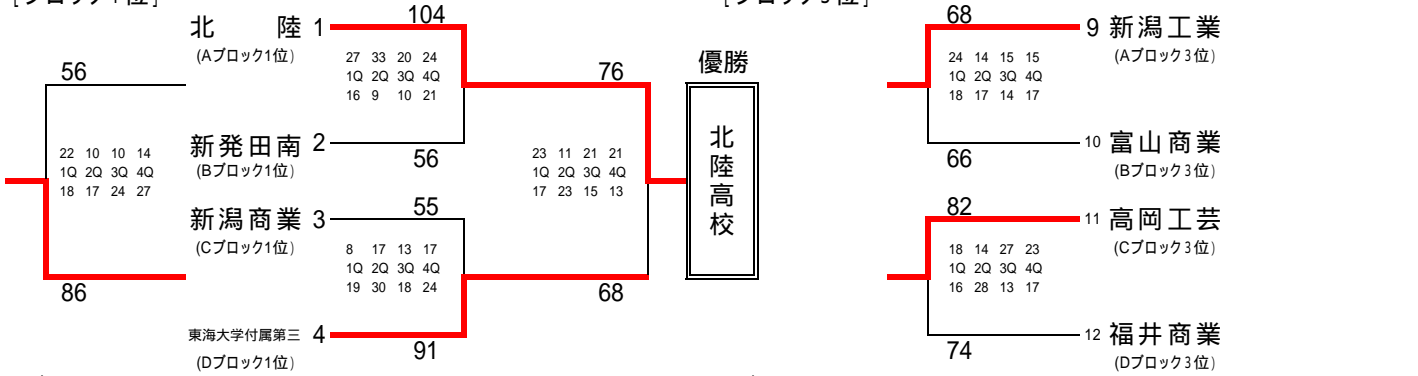
期日:平成23年1月29日(土)・30日(日) 会場:富山県総合体育センター 富山市総合体育館
[Cブロック]



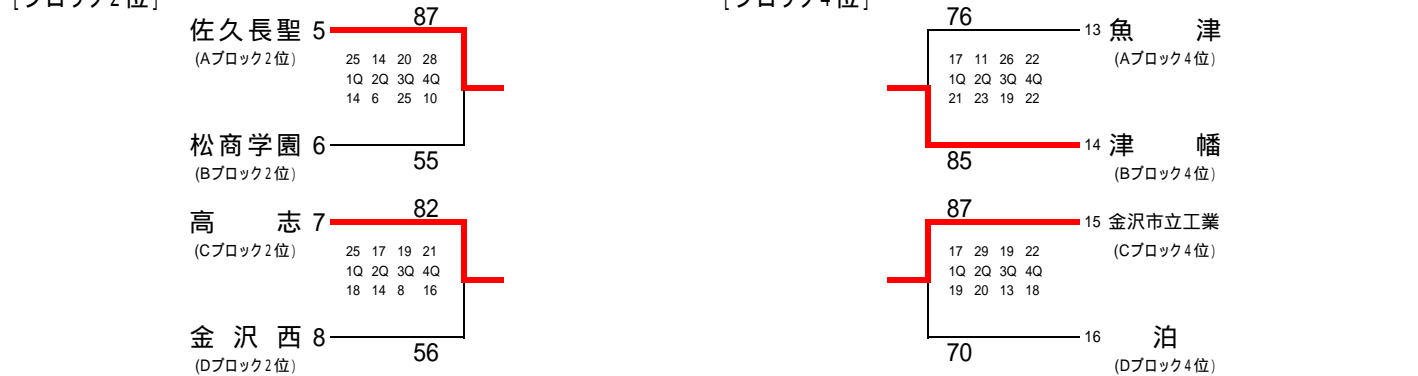
[Bブロック]



1月30日(日)
[ブロック1位]



[ブロック2位]



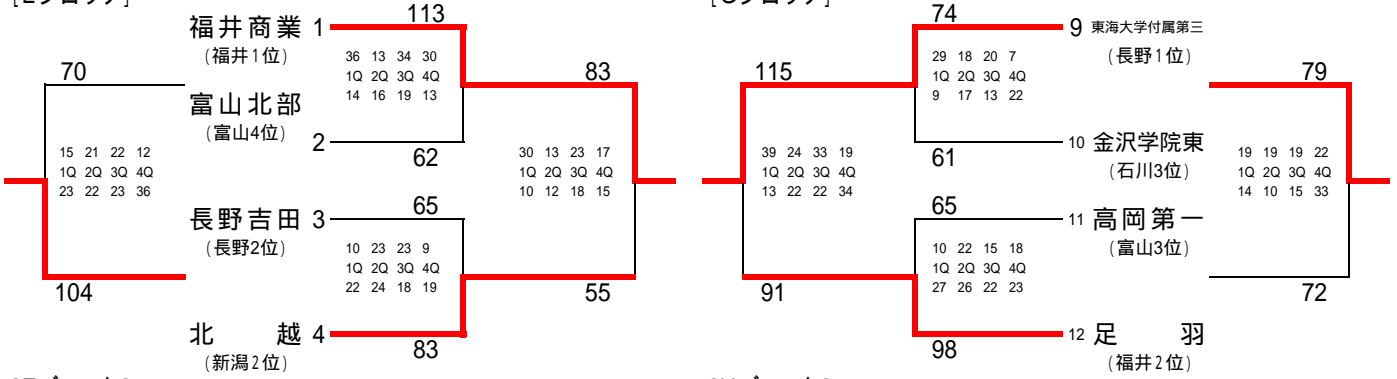
優勝
北陸高校

大会結果

平成22年度第42回北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会
女子

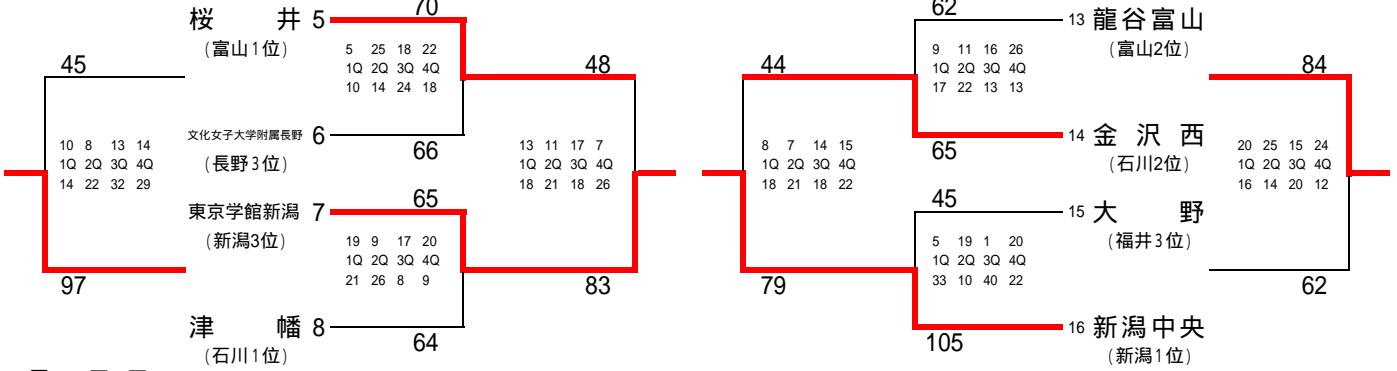
1月29日(土)
[Eブロック]

期日:平成23年1月29日(土)・30日(日) 会場:富山県総合体育センター 富山市総合体育館
[Gブロック]



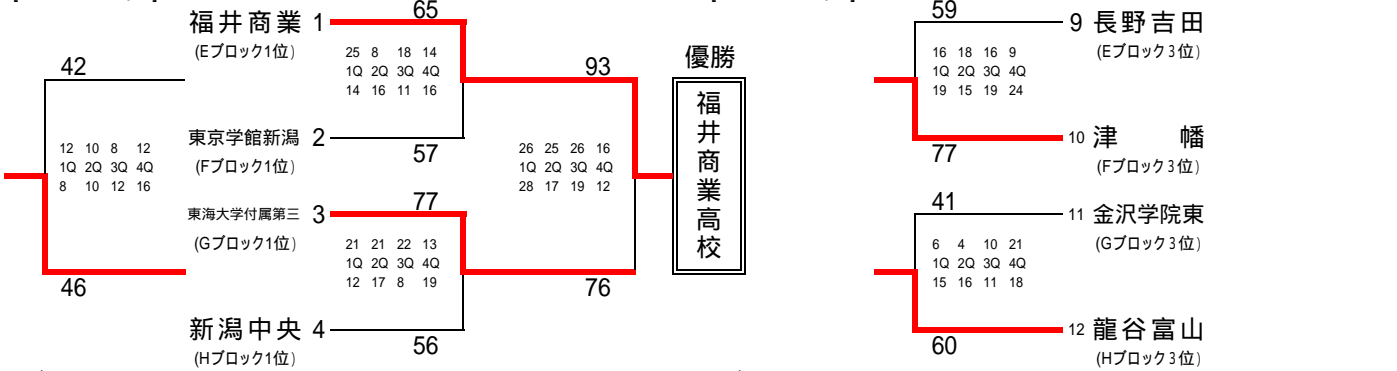
[Fブロック]

[Hブロック]



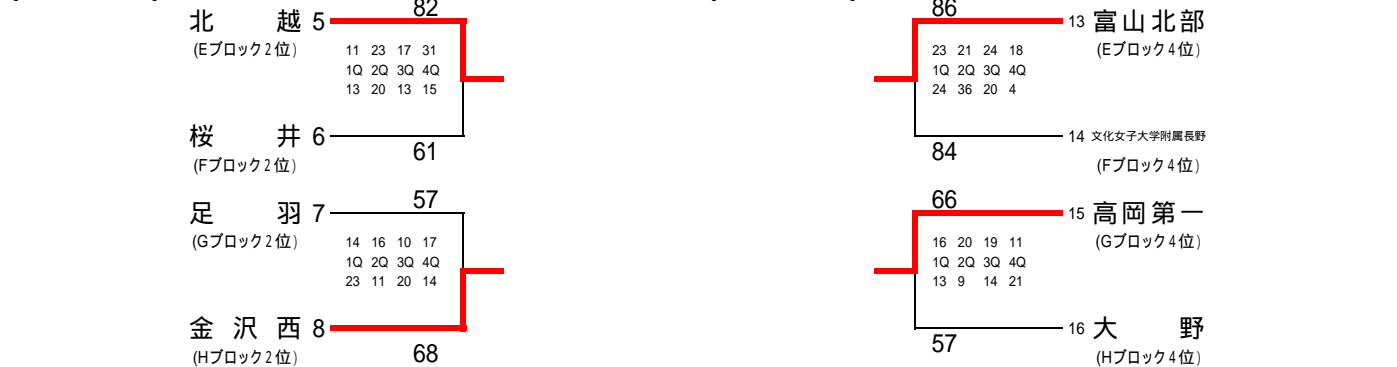
1月30日(日)
[ブロック1位]

[ブロック3位]



[ブロック2位]

[ブロック4位]



優勝
福井商業高校

大会名称: 第42回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山市総合体育館

試合区分: No. A 4 男子 決勝

期 日: 平成23年1月30日(日)

主審: 玉木 彰治

開始時間: 14:00

副審: 山内 正隆

終了時間: 15:30

北 陸		76					23 -1st- 17 11 -2nd- 23 21 -3rd- 15 21 -4th- 13 -OT1- -OT2- -OT3-					68					東海大学付属第三				
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F						
4		田中 英太	8		4		0	4	*	改田 賢太	3	1			2						
5		神田 元大						5		沓掛 雄太	0				1						
6	*	三上 健人	12	2	3		0	6		矢満田 浩太	0				0						
7		八木橋 直矢	0				2	7	*	福澤 晃平	18	2	4	4	0						
8	*	満田 丈太郎	19	1	8		3	8	*	永田 慎吾	2		1		0						
9	*	木林 毅	0				0	9		原 友弘											
10	*	刘 孟涛	20		9	2	0	10	*	三ツ井 利也	8		4		2						
11		刘 佩林						11		北堀 裕輔											
12		一番ヶ瀬 湊	12		5	2	2	12		吉村 大河	0				0						
13		伊藤 崇大						13	*	花井 大悟	33	6	7	1	0						
14		山崎 尚也						14		武田 圭梧											
15	*	鈴木 光穂	5	1	1		2	15		坂本 大悟	4		2		4						
16		藤原 瑞樹						16		横澤 星嵐											
17		山口 覚士						17		吉田 泰隆											
18		苗田 剛汰						18		箱山 伶央	0				1						
合計			76	4	30	4	9	合計			68	9	18	5	10						

戦 評

両チーム、マンツーマンディフェンスで試合開始。北陸は の高さ、 の機動力を生かして得点を重ね、優位に試合を進める。東海第三も 、 のドライブや3点シュートで食い下がるが北陸リードで1Q終了。

2Q残り4分から東海第三のディフェンスが連続してボールを奪い、これを 、 がしっかり決めて逆転。さらに8点リードしたところで、今度は北陸がタイムアウト。オフェンスリバウンドを奪いながらも得点につなげられない北陸がリードを許す展開となった。

後半に入り北陸は 、 のインサイドプレーで確実に得点し、5分経過したところで同点。さらに残り4分を切ったところで、それまでインサイドで攻守に頑張っていた東海第三 が顔面を負傷し退場、さらに も4ファールと東海第三のインサイドが苦しくなる。

4Qに入り、東海第三はディフェンスをゾーンに切り替え、激しくプレッシャーをかけるが、オフェンスでミスを連発し、北陸が先行。北陸はインサイドで確実に得点し、さらにディフェンスラインを上げてボールを奪いリードを広げる。残り3分を切り、9点ビハインドで東海第三がタイムアウト。オールコートプレスでボールを取りに行くがシュートが決まらず8点差でゲームオーバー。両チーム激しいディフェンスでミスの多いゲームとなったが、インサイドを確実に決めた北陸が北信越を制した。

大会名称: 第42回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山市総合体育館

試合区分: No. B4 男子 三位決定戦

期 日: 平成23年1月30日(日)

主審: 仲埜 弘幸

開始時間: 14:00

副審: 吉田 泰人

終了時間: 15:30

新発田南							新潟商業								
56							86								
22 -1st- 18															
10 -2nd- 17															
10 -3rd- 24															
14 -4th- 27															
-OT1-															
-OT2-															
-OT3-															
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	熊倉 諒	16		7	2	2	4	*	黒崎 海斗	3		1	1	2
5	*	風間 純矢	7		3	1	2	5	*	笹川 錬也	4		2		0
6	*	江端 俊佑	17		8	1	2	6	*	小川 健太	10		5		3
7	*	曾我 祥汰	4		2		0	7	*	江部 大樹	8		4		1
8		津野 直樹						8		神田 佑成	10		5		2
9	*	高橋 健太	10		5		1	9		近藤 孝仁	12		5	2	2
10		曾我 悠介						10		小柳 多功	2		1		1
11		阿部 太尊	2		1		3	11	*	笠原 一生	12		5	2	2
12		五十嵐 賢一						12		伊藤 賢人	0				0
13		大嶋 康平						13		渡辺 樹大	0				0
14		佐藤 彰人						14		藤井 智己	8		4		0
15		竹内 慎一						15		大矢 孝太郎	14		7		1
16		鈴木 裕也						16		大崎 友也	0				0
17		長峰 裕志						17		中村 一仁	0				0
18		五十嵐 守剛	0				0	18		加藤 豪	3	1			0
合計			56	0	26	4	10	合計			86	1	39	5	14

戦 評

新潟県勢同士の3位決定戦。両者ディフェンスは共にマンツーマンでスタート。前半、互いにボールを動かしながら1on1からのジャンプシュートを中心に攻める。互角の戦いを演じ、前半は32対35で新潟商業が3点リード。後半、出足より新潟商業はディフェンスのプレッシャーを強める。新発田南はターンオーバー、シュートミスが目立ち始める。新潟商業はディフェンスから速攻を決め、一気に3Qで59対42と突き放す。4Qもペースは変わらず、86対56で新潟商業が勝利を収めた。

大会名称: 第42回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山市総合体育館

試合区分: No. A3 女子 決勝

期 日: 平成23年1月30日(日)

主審: 大倉 守正

開始時間: 12:20

副審: 尾形 美樹

終了時間: 13:50

福井商業		93		26 -1st- 28 25 -2nd- 17 26 -3rd- 19 16 -4th- 12 -OT1- -OT2- -OT3-		76		東海大学付属第三							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		渡辺 梨加						4	*	嶋田 華奈	8	1	2	1	5
5	*	小林 玲花	19		8	3	2	5	*	鈴木 希望	14	1	4	3	1
6	*	林 希望	12	2	3		1	6	*	桑澤 梨奈	7		3	1	4
7		酒井 育美	3		1	1	1	7		上原 ありさ	2		1		0
8		宮崎 麗						8		柴 千夏					
9		井上 聡美						9		永富 万結	3	1			1
10	*	宮下 千明	30	1	12	3	2	10		山本 美紀					
11	*	尾嶋 由香	9		3	3	3	11		久保田 華	0				2
12	*	濱田 加代子	19	1	8		3	12		中島 雪乃	0				0
13		佐々木 友里	0				0	13		大輪 麻耶					
14		佐々木 美有						14		中本 梨香子					
15		吉岡 未紗						15		唐澤 芽唯					
16		森本 美香	1			1	0	16	*	内堀 紫菜	23	5	4		0
17		沢崎 菜月						17	*	北川 直美	19		9	1	4
18		渡辺 ひかる						18		太田 景子	0				2
合計			93	4	35	11	12	合計			76	8	23	6	19

戦 評

決勝戦は福井1位の福井商業と長野1位の東海第三との試合になった。福井商業はハーフコートマンツーマン、東海第三は激しいオールコートマンツーマンでスタートした。福井商業はボール運びに苦しみながらも、リバウンドからの速い展開とインサイドを中心に得点を重ねる。対する東海第三は がファールトラブルになるが のアウトサイドシュートと のリバウンドシュートを中心に対抗し、1Qから激しい入れ合いになり、26 - 28で東海第三がリードで終わる。

2Qに入り福井商業が1-1-2-1から2-1-2のゾーンディフェンスに変更する。東海第三はゾーンに苦しみながらも のジャンプシュートでつないでいくが、徐々に福井商業ペースとなる。残り1分11秒で東海第三 が4つ目のファールを犯し、ディフェンスが激しく出来なくなったところを福井商業 が攻め込み、3P・ジャンプシュートの連続得点を決め51 - 45で福井商業が逆転して前半を終える。

3Q、東海第三はショートコーナーを使いゾーンを崩しリズムを取り戻すが、残り6分39秒で が4つ目のファールを犯す。その後、福井商業に離されそうになるが、ディフェンスで頑張り簡単に得点を与えない。また がインサイドで頑張り得点を重ねる。リズムに乗り切れない福井商業は残り1分33秒でタイムアウトをとり、マンツーマンに切り替える。福井商業 が残り1秒で3Pを決め77 - 64で福井商業がリードで終わる。

4Q、東海第三はインサイドで攻めたいがなかなかつながらない。対する福井商業は を中心に得点を重ねていく。早く追いつきたい東海第三はアウトサイドシュートが多くなるが、残り4分57秒に がファールを犯し、ファールアウトとなる。福井商業は冷静にDFをかわし、確立の高いシュートで相手を突き放し、93 - 76で勝利した。

大会名称: 第42回 北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会

開催場所: 富山市総合体育館

試合区分: No. B3 女子 三位決定戦

期 日: 平成23年1月30日(日)

主審: 坂上 佳弘

開始時間: 12:20

副審: 惣万 直樹

終了時間: 13:50

東京学館新潟							新潟中央								
42							46								
							12 -1st-	8							
							10 -2nd-	10							
							8 -3rd-	12							
							12 -4th-	16							
							-OT1-								
							-OT2-								
							-OT3-								
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山田 美希						4	*	大竹 秋乃	11	1	4		2
5	*	西須 日奈子	13	3	1	2	2	5	*	渡辺 杏菜	6	1	1	1	0
6	*	西潟 李奈	4		2		3	6		佐藤 薫					
7		渡邊 絵美	3	1			1	7		佐藤 睦実					
8		堀川 夏海						8		橋本 奈央					
9	*	八木 怜奈	2		1		2	9	*	安藤 慈	2			2	0
10	*	古俣 澪里	17	1	6	2	2	10	*	加藤 千夏	18		6	6	2
11		岩野 奈々						11		山本 満里奈					
12	*	原 彩佳	0				3	12		渡邊 春香					
13		八木 保奈	3	1			1	13		井口 南					
14		西村 彩						14		石山 佳代	0				0
15		相田 彩華						15		清野 夏美					
16		大湊 理乃						16		大川 亜純	4		2		1
17		横山 怜						17		佐久間 萌					
18		吉原 茉邑						18	*	萩野 早紀	5		1	3	2
合計			42	6	10	4	14	合計			46	2	14	12	7

戦 評

1 Q、新潟中央が のドライブからファウルを誘い先制。お互い得点が伸びず、12対8で東京学館新潟が4点リード。2 Q、両チーム積極的にドライブで攻めるもののシュートがなかなか決まらない。22対18で東京学館新潟が4点リードで折り返す。3 Q、流れを変えたい新潟中央はオールコートマンツーマンを仕掛け同点に追いつく。4 Q、新潟中央が のインサイドプレイでリードするも、東京学館新潟 の得点で追いつく。最後は新潟中央が の連続得点で追いすぎる東京学館新潟を振り切った。